

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	歴史総合
科目基礎情報						
科目番号	0022		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学分野		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	★教科書：『世界史A』（東京書籍）★補助教材 『エスカリエ』（帝国書院）各国別書きこみ 年表&地図（山川出版社）★参考書：『山川世界史小辞典』（山川出版社）					
担当教員	瀧川 貴利					
到達目標						
1 古代史・中世史を通して、現在の世界が形成されるに至った歴史を知ることができる。 2 ヨーロッパ史やアメリカ史の特色を踏まえ、歴史的視点を持つことができる 3 歴史的視点を持って、国際社会を考察する基礎力を養うことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	古代史・中世史を通して、現在の世界が形成されるに至った歴史を知ることができる		古代史・中世史・現代史などをだいたい知る事ができる		古代史・中世史・現在史を理解できていない	
評価項目 2	ヨーロッパ史やアメリカ史や中国史の特色を踏まえ、歴史的視点を持つことができる		ヨーロッパ史やアメリカ史や中国史の特色を踏まえることができる。		ヨーロッパ史やアメリカ史や中国史の特色を踏まえることができない。	
評価項目 3	歴史的視点を持って、国際社会を考察する基礎力を養うことができる。		歴史的視点を持つことができる。		歴史的視点を持つことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A						
教育方法等						
概要	ヨーロッパ史やアメリカ史を勉強することで、異文化の理解を深めます。ヨーロッパ絵画や建築などの解説も行います。また地理についても簡単な解説を行います。					
授業の進め方・方法	教科書を用いますが、ヨーロッパ絵画や建築などについてプリントなどで詳しく解説します。不合格者については、再試験または課題学習の評価が60点以上で合格とする。 ★関連科目： 歴史と文化 A、歴史と文化 B。					
注意点	授業には必ず教科書と補助教材を持ってくるください。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	東アジア世界 I 秦	東アジア世界について理解できる。		
		2週	東アジア世界史 II 唐	東アジア世界史について理解できる。		
		3週	東アジア世界 III 北宋 モンゴル帝国	東アジア世界について理解できる。		
		4週	東南アジア世界	東南アジア世界について理解できる。		
		5週	南アジア世界	南アジア世界について理解できる。		
		6週	西アジア世界（古代オリエント）	西アジア世界について理解できる。		
		7週	中間試験	中間試験を実施する		
		8週	イスラーム世界	イスラーム世界について理解できる。		
	2ndQ	9週	ギリシャ	古代ギリシャについて理解できる。		
		10週	ローマ	古代ローマについて理解できる。		
		11週	ビザンツ帝国と東ヨーロッパ	ビザンツ帝国と東ヨーロッパについて理解できる。		
		12週	西ヨーロッパ世界の変容	西ヨーロッパ世界について理解できる。		
		13週	南北アメリカとアフリカ	南北アメリカとアフリカについて理解できる。		
		14週	モンゴル帝国・明	モンゴル帝国と明について理解できる。		
		15週	清・朝鮮	清と朝鮮について理解できる。		
		16週	前期期末試験			
後期	3rdQ	1週	ティムール朝・ムガル帝国・オスマン帝国	ティムール朝・ムガル帝国・オスマン帝国について理解できる。		
		2週	ルネサンス・宗教改革	ルネサンス・宗教改革について理解できる。		
		3週	大航海時代・オランダの台頭	大航海時代などについて理解できる。		
		4週	イギリスの二つの革命・アメリカ独立革命	アメリカ独立革命などについて理解できる。		
		5週	フランス革命・産業革命	フランス革命・産業革命について理解できる。		
		6週	ラテンアメリカ諸国の独立・オスマン帝国の動揺	ラテンアメリカの独立などについて理解できる。		
		7週	中間試験	中間試験を実施する		
		8週	ウィーン体制・1848年革命	ウィーン体制と1848年革命について理解できる。		
	4thQ	9週	フランス第二帝政・南北戦争	フランス第二帝政・南北戦争について理解できる。		
		10週	アジア諸国の変貌と日本	帝国主義について理解できる。		
		11週	帝国と民族の時代	戦後秩序の形成について理解できる。		
		12週	二つの世界大戦の時代	世界恐慌とファシズムについて理解できる。		

		13週	第二次世界大戦	第一次世界大戦と第二次世界大戦について理解できる。
		14週	冷戦と民族独立の時代	冷戦と民族独立の時代について理解できる。
		15週	グローバル化のなかの危機	グローバル化のなかの危機について理解できる。
		16週	後期期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0